

1. 主題構成表

主題名 働くことの大切さを知って

資料名 公園の草とり 出典:(文溪堂)

<p>■内容項目 中 C- (13) 勤労奉仕の精神 (中) 働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。 (高) 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役立つことをする。</p>	<p>■内容項目から見た児童の実態(意識)</p> <ul style="list-style-type: none"> 働くことは大切だということは、わかっているのですが、掃除や係の仕事に取り組むことができます。また、自分の仕事をやり忘れていても教えられれば嫌な顔をしないですぐに取り組むことができます。 働く喜びを実感して行っているわけではないので、自分の分担の仕事が終われば、それ以上自分から仕事を求めてする姿はあまりない。自分の分担も、その時の気分によって取りかかれぬ時もある。 <p>■要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 自閉・情緒学級の児童にとって、掃除や係の仕事は1日のルーティーンの一つになっており、働く喜びを実感する経験は多くない。また、興味の対象は自分であり、他の人の仕事にまで関心が無いため、進んで人の仕事を手伝って感謝される経験も少ない。 進んでみんなのために働くこととする意識をもち続けることが難しい。 	<p>■資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 本資料は、夏の暑い日曜日、主人公が母親に公園の草取りに誘われる。本当は嫌でたまらなかったのに、渋々引き受けてしまった。しばらく続けたが、手も痛くなってきたので止めて帰ろうと思う。しかし、母親がきれいにした鉄棒で楽しく遊ぶ子どもたちを見て帰るのを止める。その後、草取りを続け、翌日草を抜いた場所で楽しそうに遊ぶ1年生の姿を見て喜びを感じるという内容である。児童は、自分が働くことによって喜ぶ人がいることを知り、人の役に立ちたいという気持ちがあれば辛い仕事にも立ち向かうことができるということを実感する。 主人公が草取りを止めて帰りたいと言ったときの気持ちを考えることによって、苦しく面倒な仕事はやりたくないという思いに共感することができる。 鉄棒で遊ぶ小さな子を見て再び草取りを始めた主人公は、翌日その場で楽しく遊ぶ1年生の姿を見て、人の役に立つ仕事できた喜びを味わう。人のために夢中になって働くこととした主人公の気持ちに共感し、辛くても人の役に立つ喜びに気付くのである。
<p>■価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 働くこととは、単に自分が生活していただくだけでなく、自分に課せられた社会的責任を果たすことである。 特別支援学級の児童は、働くことが大切なことであることは理解しているが、働いたことで他の人の役に立つことや自分の喜びにつながるという点については、個によって異なる。 褒められるからうれしい、みんなが喜んでくれるからまたやりたいという児童もいれば、人のためにするのは損、面倒と感じる児童もおり、個によって価値観も異なる。そこで、働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くことが自己や他者の喜びにつながることを実感させたい。また、分担された仕事はきちんとやりきろうとするが、自分から進んで取り組むことはむずかしい児童に、進んで仕事を見つけ、みんなのために働こうとする心情を育てたい。 		

■ねらい
 自分が働くことがみんなのためになることを知り、人の役に立つ喜びを感じられることに気付き、進んでみんなのために働こうとする心情を育てる。

■他の教育活動との関連

<p>■事前 掃除・係活動・委員会活動 掃除や係活動、委員会活動で毎日自分の分担された仕事を行っているが、みんなのためという意識が低く、進んで手伝ったり、見つけ掃除をしたりしようという意欲は低い。</p>	<p>■本時 「公園の草とり」</p>	<p>■事後 掃除・係活動・委員会活動 自分から進んで働くことで、みんなが喜んでくれることを嬉しいと実感できるように、見つけた姿を紹介し誉めていく。</p>
--	---	--

■「私たちの道徳」の活用(授業前・授業中・授業後・活用しない)
 (活用の仕方) 3・4年：p 130 / 131 働くことの大切さ
 5・6年：p 152 / 153 「働く」ということ の話を、教師の説話で紹介する。

2. 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇自分の係や委員会の仕事を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスト係 ・健康観察係 ・歌係 ・花係 ・予定係 ・栽培委員会の水やり ・掃除や給食当番 ・係や委員会の仕事は、どれも大事な仕事。 ・掃除や給食当番は誰かがやらないと、気持ちよく生活できない大切な仕事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が行っている仕事ぶりを把握して一言添える。 ・児童が行っている仕事に人の役に立っていることに触れ、価値への方向付けをする。
展開前段	<p>◇話を聞き、主人公「ぼく」の気持ちや行動について話し合う。</p> <p>○感想を発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草とりを止めようとしたのに、続けたところがすごい。 ・1年生の子が楽しそうに遊んでいるのを見て、うれしかったらうなあ。 <p>○「ぼく」はどんな気持ちから「もう、草とりをやめて、帰りたい。」と言ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暑くてもう我慢できない。 ・簡単に草がとれないから手が痛い。もう嫌だ。 ・好きでやり始めたわけじゃない。 <p>○帰りたい気持ちでいっぱいだったのに、汗が顔から流れ落ちても嫌だとは思わず、夢中で草とりを続けた「ぼく」はどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草ぼうぼうじゃ、小さい子は遊べないよな。 ・お母さんが言うように草をとればみんな喜んでくれる。 ・みんなが楽しそうに遊んでいられるのは、頑張ってお母さんが草をとったからだ。ぼくもやってみよう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>深めの発問</p> <p>○草とりは、「ぼく」がやらなければいけない仕事なの？</p> <p>草とりしている子ども、誰もいないよ。損しない？</p> </div> <p>○翌日、ぶらんこやジャングルジムで楽しそうに遊ぶ1年生を見て思わずにっこり笑った「ぼく」は、どんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草とりを最後まで頑張っていてよかったな。 ・みんなのために働くのは気持ちがいいなあ。 ・これからも進んでみんなのために働こう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵資料を用いて話をする。 ・場面の様子をとらえやすいように、しぶしぶ・草ぼうぼう・我慢の限界等の言葉を押さえ、掲示する。 <p>☆根っこの張ったプランターを用意して、実際に引っ張らせ、なかなか草がとれない主人公の辛さや大変さを実感できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母親に言われたから草とりを続けたのではなく、小さな子が喜んで遊ぶ姿を見て、小さな子のためにやってあげようという。自分の意志で続けると決めたことを引き出すようにする。 <p>☆深めの発問をすることにより、みんなのために頑張ろうという気持ちが主人公の中に芽生えたことに気付き、進んで働くこととする気持ちを高めることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の楽しそうに遊ぶ姿を見て喜ぶ「ぼく」の気持ちに共感できるようにする。 <p>※みんなのために働くことが、自分の喜びにつながることから、進んでみんなのために働くこととする心情を高めることができる。</p>
展開後段	<p>◇自分の生活を振り返る。</p> <p>○今、掃除や給食当番、係、委員会の仕事をしていますが、自分から進んで働いた時はどんな気持ちですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分から「みつけ掃除」をして雑巾が真っ黒になったとき、「ありがとう。」と言われて嬉しかった。 ・自分が世話をした花がきれいに咲いて、みんながきれいだと誉めてもらえたとき、やっていてよかったと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を振り返りやすいように、始めに一人一人が話した掃除や給食当番、係や委員会の仕事にもう一度立ち帰る。
終末	<p>◇児童の姿を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の教室点検でごみが落ちていないかのチェックが○になるようにと願い、掃除の時間に丁寧に掃除機をかけたり、朝登校してからも細かいごみを手で拾ったりしていたM児を紹介する。 ・「わたしたちの道徳」を紹介し、家庭で記入する。 3・4年：p 130 / 131 働くことの大切さ 5・6年：p 152 / 153 「働く」ということの話、教師の説話で紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの教室がきれいになるようにと自分で考え、たった一人でも必死にごみを拾ってくれていたM児のよさを話す。 ・私たちの道徳を紹介する。

※人権教育の観点

☆どの子どもでもできる状況を生み出すための配慮